

手芸倶楽部新聞

2014年
4月3日号
第8号

第八回の手芸倶楽部は、二十人もご参加くださいました。その他にもご家族が三名参加して、刺し子の指導や、造花のカット作業を手伝ってください、大変助かりました。ありがとうございました。

今回の造花フラワーアレンジメントは桔梗や百合が入荷。シックなアレンジを楽しまれる方、にぎやかにたくさんのお花を活ける方、それぞれ楽しんでくださったのではないかと思います。最初は乗り気じゃなくても、帰る時には嬉しそうに花を抱えて帰られるので、職員も嬉しく思います。

今回、刺し子参加は少なかったのですが、曲線の多い紋様を、一心不乱に縫っている姿が印象的でした。



造花フラワーアレンジを上手に仕上げるコツは、なんといっても花のセレクトとカットにあります。どう組み合わせてもそれなりになるのは、短くカットしてあるから。大きな花から活けて、最後に葉を入れるようにするとうまくいきますよ。器には重りを兼ねて油粘土を入れましょう。

手芸のツツ

今回は四月二十六日(土)、地域交流室にて十五時より開催予定です。

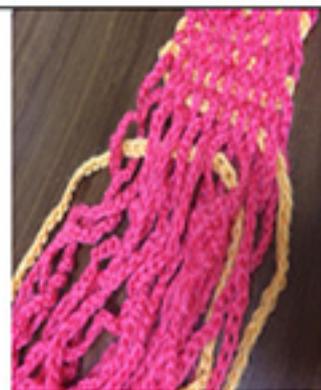
伊藤機能訓練指導員より

今回はご家族の参加も含めて二十人の方が作業を楽しみました。よりたくさんの方が参加できるように、今後も努力していきます。



新メニュー紹介

とある利用者様、細編みや長編みは忘れてしまっていてできません。ですが、鎖編みは上手。楽しみつつたくさん編みました。それに職員が少し手を加え、マフラーに仕上げました。彼女は作品を作ることより、編んでいることに癒しを感じていて、できあがったマフラーには興味を示しませんでした。形あるものに仕上げることが、ご家族はともにも喜んでくださいました。鎖編みならばできるという方は、意外と多いのです。倶楽部に参加して試してみませんか？こちら、「鎖編み手芸」と命名いたします！



編集後記：フラワーアレンジを何度かトライしているM様。「やってみませんか」とお誘いしても拒否。でも花に興味はある様子。なので、ある日造花アレンジメントの材料を一式、M様の目の前のテーブルに置いて側を離れてみました。しばらくすると、一本ずつ花を手にとってしげしげと眺めはじめます。そして、油粘土を仕込んだ器ではなく、なんとご自分のお茶のコップに花を活けだしました！粘土に挿す事は理解できなくても、さすが元主婦。コップに活けることは体で覚えていました！花瓶を用意して楽しんで頂きました(平戸)